

# 神奈川県議会 一般質問

日付：平成30年9月20日

## 1. ユニークベニューを活用したMICE誘致について

MICEの会場となる施設には、パシフィコ横浜などの国際会議場がまず挙げられるが、欧米では特別感や地域特性を出せる歴史的建造物や文化施設、公的空間等も「ユニークベニュー」としてイベント会場に活用されている。本県にも、世界の人々を魅了する事の出来る素晴らしい施設が数多く存在しており、このような施設をユニークベニューとして活用することが出来れば、会議・レセプション等の開催を本県に取り込めると考える。そこで本県へのMICE誘致を行う上で、県内の魅力的な施設をユニークベニューとして活用したプロモーションをすすめていくべきと考えるが、見解を伺う。

## 2. 動画を活用した観光プロモーションについて

一昨年の定例会において、私は動画を活用した観光プロモーションについて質問をし、昨年「神奈川県観光動画コンテスト」が実施された。地域の魅力をリアルな視点で発信する動画は、国内外から観光客を呼び込むために活用することは大変有効である。今年度から動画コンテストは県観光協会に移管されたと伺ったが、コンテストの認知向上を図るため、どのように取り組んでいくのか、また、受賞作品を含め、今後どのように動画をプロモーションツールとして活用していくのか、見解を伺う。

## 3. e-sportsの大会誘致による観光振興について

近年、e-sportsが大きな注目を集めている。e-sportsとはエレクトロニック・スポーツの略語で、コンピューターゲームやビデオゲームでチームや個人が対戦する「競技」の総称なのだが、国内だけではなく世界中に多くのファンがいる e-sports の大会を本県に誘致出来れば、プレイヤーや観客の宿泊・観光だけでなく、本県のプロモーションという側面も大いに期待できると考える。今後、さらに盛り上がっていくであろう e-sports に対し、積極的に大会の誘致活動を行っていくべきだと考えるが、見解を伺う。

## 4. 県立高校におけるVR/AR技術の導入について

海外では、バーチャリアリティや拡張現実の技術を授業に取り入れることによって教科書だけではイメージしづらい内容を疑似体験でき、学習効果が大幅にアップしたとの調査結果が数多く出ている。今後、県立学校における学力向上を目指す上で、本県の学校教育におけるVR/ARの技術を取り入れることは自然な流れであると考えますが、技術の導入についてどのように考えるのか、見解を伺う。

## 5. 検索連動型広告の活用について

検索連動型広告とは、インターネット広告の一種で、Googleやyahooなどの検索エンジンで一般ユーザーが検索したキーワードに関連した広告を検索結果画面に表示する広告を指す。これは、単に商品を宣伝するだけでなく、例えば、足立区では「自殺」を連想する言葉で検索を掛けた人に対し、自殺防止の相談に誘導するような広告を出す取組を行うなど、様々な用途が存在する。検索連動型広告は費用等が掛かるかもしれないが、利用者のニーズに直接訴えることが出来、広報としてより良い結果に結びつくと考える。そこで、県として今後、検索連動型広告に対してどのように取り組んでいくのか、見解を伺う。

## 6. 自然災害発生時における被災状況確認の取組について

首都直下地震や大規模な洪水や土砂災害など大きな自然災害が発生した際、被災状況を正確に把握することは、迅速な安否確認や人命救助、復旧復興作業を行う上で必要不可欠である。特に、広域自治体である県は、全県的な視点から、被災の状況を把握し、対策を講じることが求められる。

る。そこで、いつ起きるかわからない自然災害に備え、県は、県内の市町村の被災状況を的確に把握し、救出・救助や被災者支援などの応急対策につなげる必要があると考えるが、見解を伺う。

## **7. 災害時の官民扶助ネットワークの体制の構築について（くらし安全防災局）**

現在、本県は大規模な自然災害発生時に備えて、民間事業者と様々な災害対策にかかる協定を締結している。しかし、こうした協定を生かすためには、平時のうちから災害発生時における人員配置や配送拠点のオペレーション体制などについて官民で密に連携しておく必要がある。そこで、災害時の官民扶助ネットワークの体制を強化する為にも、県内の業界・団体関係者と積極的に連携を深めていく必要があると考えるが、見解を伺う。